■ひとマチ点描■カルデイラ大野ルマ喜代子さん（２７、三世）＝日本祭りで岐阜県をＰＲ

来場者に説明中のカルデイラさん

　南大河州ポルト・アレグレ市で先月１６、１７日に行われた日本祭りの展示ブースの一角で、手製の資料を使って岐阜県のＰＲ活動に励んでいた。春色の着物に身を包み、「県費留学はいい思い出ばかり。こうした活動が恩返しになれば」と笑顔で話す。

　普段は理学療法士として同市で働く。２０１２年に岐阜大学に留学。天皇陛下も臨席された障害者スポーツ大会「岐阜清流国体」にボランティア参加したことが強く思い出に残っているという。

　岐阜県の説明を受けたダニエル・フラガ（１９）、アナパウラ・カストロさん（２４）は、「日本には魚料理しかないと思っていたけど、飛騨牛はとても美味しそうだ」「鵜飼い（鵜を飼い馴らして魚を獲らせる漁法）なんて漁法は想像したことも無かった。岐阜はファンタスティックな所ね」と興味を持ったようだった。

　説明後、「資料をもっと用意しておけば…」と反省する彼女。「来年はもっとしっかりした展示資料を作らなければ」とリベンジに燃えている。（石）